

イベントカレンダー (9月~11月)

*開催時間等、詳しくは市広報等でご確認ください。
*コロナウイルス感染拡大防止のため内容を変更して開催または中止する場合があります。

9月

~18日(日)	最新出土品展「古代・中世のふじみ野」	上福岡歴史民俗資料館
~19日(月・祝)	巡回平和展「ふじみ野1942」	大井郷土資料館
10日(土)	はたおり体験・福岡河岸記念館特別公開	福岡河岸記念館
11日(日)・25日(日)	まちさんぼツアーガイド養成講座①・②	ふじみ野市役所
25日(日)	まちかどコンサート	福岡河岸記念館

10月

1日(土)~11日(火)	展示「上福岡歴史民俗資料館友の会活動 etc」	イオンタウンふじみ野
2日(日)・6日(日)・30日(日)	まちさんぼツアーガイド養成講座③~⑤	ふじみ野市役所他
8日(土)	福岡河岸記念館特別公開	福岡河岸記念館
9日・23日(日)	まちかどコンサート	旧大井村役場
23日(日)	竹とんぼづくり	上福岡歴史民俗資料館
15日(土)~21日(日)	最新出土品展「古代・中世のふじみ野」	旧大井村役場
25日(火)~12月11日(日)	特別展「武士の群像~ふじみ野の中世 フロ ンティアの時代~」	大井郷土資料館・上福岡歴史民俗資料館・福岡河岸記念館
29日(土)	友の会特別展関連講座「ミヤコの仏師、東へ」	上福岡歴史民俗資料館

11月

5日(土)	福岡河岸記念館特別公開	福岡河岸記念館
6日(日)・27日(日)	まちさんぼツアーガイド養成講座⑥・⑦	ふじみ野市役所他
12日(土)	講座「遺物に見るふじみ野の中世社会」	大井郷土資料館
19日(土)	ハウキモロコシでつくるミニほうき	福岡河岸記念館
20日(日)	講演会「北条氏の領国支配と村落の人々」	大井郷土資料館
26日(土)	歴民学習講座	大井郷土資料館

●文化財日誌 (令和4年6月~8月)

- 6月1日 埼玉県文化財保護協会評議員会
- 6月7日 入間東部地区文化財保護協議会理事会
- 6月7日 資料館・文化財ボランティア会議
- 6月9日 東台小学校3年生ほうき授業・種まき
- 6月14・21日 駒西小学校文化財展示室作業
- 6月20日 令和4年度第1回文化財保護審議会
- 6月23日 入間東部地区文化財保護協議会会員研修
- 7月3日 講演会「ひろがる やさしい日本語の世界」
- 7月5日 資料館・文化財ボランティア会議
- 7月5・6日 さぎの森小学校文化財展示室公開
- 7月9日 古い商家ではたおり体験
- 7月25日~ 権現山古墳群史跡の森閉鎖
- 7月30日 ホウキモロコシの収穫・脱穀作業
- 8月2日 資料館・文化財ボランティア会議
- 8月3日 権現山探検「葉の標本づくり」
- 8月6日 ホウキモロコシの収穫・脱穀作業
- 8月20日 古い商家ではたおり体験

市内の文化財・遺跡情報が満載

遺跡情報システム

遺跡情報、指定文化財、石造物、神社仏閣などの場所や情報を検索できます。

▼2022年7月アクセス数879件
(昨年比-8)



近場で楽しもう!文化財ガイド

市内の文化財、神社仏閣、文化財説明板などを紹介したガイドマップです。



権現山探検
(8月3日)



ふじみ野市



文化財だより 第7号

発行日 令和4年9月15日
発行者 ふじみ野市教育委員会
社会教育課文化財保護係
TEL 049-220-2088
FAX 049-261-5100
bunkazai@city.fujimino.saitama.jp



ナラ枯れにより
上部が枯れた樹木
(現在、この部分
の剪定は済んでい
ます)

虫によって
あけられた穴
(矢印部分)



「権現山古墳群史跡の森」のナラ枯れ被害

新河岸川のそばに「権現山古墳群史跡の森」があります。徳川家康（東照大権現）が鷹狩りに来た際に、ここで休息したことから「権現山」の名がついたという伝承があります。

ここには、特別緑地保全地区（約 3,735 m²）にもなっている広い雑木林と約 1,700 年前の古墳時代前期の古墳群があります。前方後方墳1基、方墳11基で構成されており、そのうち9基が残っています。この時期の古墳群は現存するものが少ないため、平成14(2002)年3月22日に「埼玉県指定史跡」に指定されました。

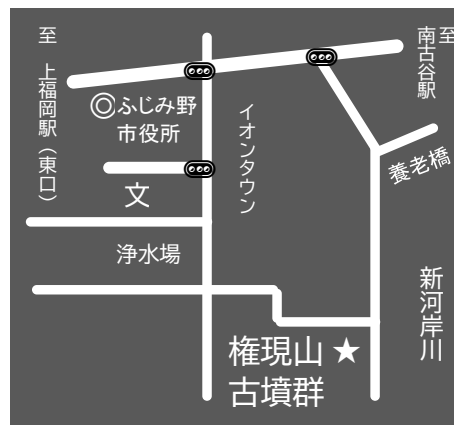
その後「権現山古墳群史跡の森」として整備し、公開していましたが、敷地内の樹木が、ナラ枯れの被害にあっているため、令和4年7月25日から閉鎖しています。

「ナラ枯れ」とは、カシノナガキクイムシによりナラ・シイ・カシ類の樹木が枯れる現象で、ここ数年全国的に拡大しています。この虫のメスが保有する「ナラ菌」が、樹木内部で繁殖す

ることで、木の内部を腐らせ、枯らしてしまうのです。権現山古墳群史跡の森では、令和3年度に初めてナラ枯れが確認されました。

カシノナガキクイムシはもともと日本にいた虫でした。かつて雑木林の木は、薪などに使うため、こまめに伐採していました。現在は樹齢を重ね大木になり、老木となっているため、虫がつきやすく、被害が拡大したようです。

カシノナガキクイムシの休眠期に、ナラ枯れの木を伐採し、安全確認後、再開する予定です。ご理解のほどよろしく願いたします。



●所在地
滝1-5

※現在閉鎖
しています。